

【展示フィールド】 ビオトープ(池)、水辺の楽校

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

【展示の説明および学習内容（ねらい）】

☆ エントランスアプローチの池へ水辺に生える植物や水草を植栽し、オイカワやヌマエビ等を放流して、観察用のビオトープとして整備している。

本館と県道26号線を挟んで隣接する親水公園「大淀川水辺の楽校」には、散策用の遊歩道や水路等が整備されており、水辺の自然環境を観察、体験したり、動植物の採集をしたりすることができる。(但し、宮崎市都市整備部公園緑地課[TEL(0985)-21-1816]が管理しているため、団体で利用する場合は、学校から所管課への申請が必要となる。)

☆ 小学校3年の「身の回りの生物」、小学校4年の「季節と生物」や中学校1年の「生物の体の共通点と相違点」等において、水辺の環境に棲息する動物や生い茂る植物を直接、自然のまま季節に応じて観察することができる。

小学校5年の「流れる水の働きと土地の変化」や中学校3年の「自然と人間」において、台風や大雨の影響による流木等を観察することで、増水による土地の変化や災害について、体感的に理解することができる。また、中学校3年の「自然と人間」では、水路を利用した水質調査を行うこともできる。

理科学習以外にも、総合的な学習の時間における環境学習では、非常に学習効果の高いフィールドであり、遠足等で来館した場合は、晴天時に限り広場を昼食・休憩の会場として活用することができる。

【写真】



【水辺の楽校(遊歩道)】



【ビオトープ(池)】



【水辺の楽校(水路)】



【学習指導要領】

エネルギー

粒子

生命

地球

学校種・学年	分野	内 容
小3年	内容B 生命 地球	(1)身の回りの生物-ア-(ア)・(イ)生物の姿の違い、周囲の環境との関わり、昆虫の育ち方の順序
小4年		(2)季節と生物-ア-(ア)・(イ)季節による動物の活動の違い、季節による植物の成長の違い
小5年		(3)流れる水の働きと土地の変化-ア-(ア)・(イ)・(ウ)流れる水の侵食・運搬・堆積、川の上流と下流における川原の石の大きさや形の違い、雨の降り方による流れる水の速さと量の変化・増水による土地の変
中1年	第2分野	(1)いろいろな生物とその共通点-ア-(ア)生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点
中3年		(7)自然と人間-ア-(ア)-㉞㉟㊱自然界のつり合い、自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害、イ-㉞自然環境の保全と科学技術の利用